Richell
for babies

2056
2057

広口ガラスほ乳びん
取扱説明書

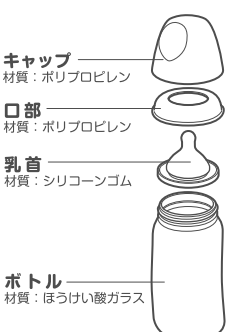
このたびは、リッチェル製品をお求めいただきありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も併せてお渡しください。

品　名　　ほ乳器（ガラス製）
材料の種類　ボトル　　ほうけい酸ガラス
　　キャップ・口部　　ポリプロピレン（PP）
　　乳首　　シリコーンゴム（Silicone）
乳首の吸い穴の形状　　丸穴
本体の容量　　150, 240ml　（最大目盛り容量）
取扱い上の注意
○ 高いところから落とすなど衝撃を与えると破損するおそれがあります。
○ 使用の際は、その都度ひび割れ、キズ、特にネジ部の欠けがないか確認してください。
○ 火のそばに置かないでください。軟化し変形などの原因となるおそれがあります。
○ 過度の煮沸は製品を早くいためますので注意してください。
○ 薬液消毒はほ乳びん、乳首専用の消毒液を使用してください。
○ 電子レンジでの空炊きをすると、プラスチックが変形したり、溶けたりする場合がありますので避けてください。
○ 使用後は、すぐにぬるま湯につけて専用のブラシなどで十分に洗浄した後、消毒を行ってください。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社 リッチェル
富山市水橋桜木136　〒939-0592
お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間：9:00～17:00（土日、祝祭日を除く）
http://www.richell.co.jp/

＜各部の名称と材質＞

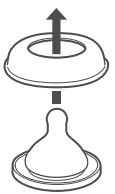


MADE IN TAIWAN 1311

＜セット方法＞

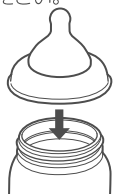
⚠注意 乳首が口部に正しくセットされないと漏れの原因になります。

①乳首を口部に矢印の方向へパチッと音がするまでしっかり取り付けてください。



②①の裏側から、乳首の外側がメクレていないか確認してください。メクレている部分は指で凸部を中央へ引くと直ります。

③ ②でセットした口部をボトルに取り付けてください。



乳首についての注意

- 吸い穴や空気穴がゴムの特性で閉じてしまい、ミルクが正常に出なくなることがありますので、もみ洗いなどをして、常に弁が開いた状態にしてください。
- 乳首は古くなると弾力性がなくなり、破れやすくなります。早めにお取替えください。

＜乳首の使用について＞

- 乳首はほ乳びんにセットし、赤ちゃんの授乳や他の飲み物を与えるためのものです。それ以外の目的には使用しないでください。
- 乳首は2～3コを交互に使ってください。赤ちゃんがひとつの乳首になじむと、新しい乳首を嫌って吸わないおそれがあります。
- 同じ乳首を長く使用すると弾力を失い、破れたりして本来の機能を失うばかりでなく、思わぬ事故の原因となります。より衛生的にお使いいただくためにも、早めに取替えてください。（目安は2コを交互に使用した場合、約2カ月）また、乳首の表面がベタついたり先端がふくらんだものはゴムが劣化していますので、使用しないでください。
- 歯の生えている赤ちゃんが噛んで引っ張ると裂けるおそれがありますので注意してください。
- 乳首を直接日光の当たる場所に放置しないでください。長時間直射日光に当てると、変質の原因になります。

＜使用上の注意＞

○記号の説明
この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

⚠警告 …取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。
⚠注意 …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⚠ 警告

●電子レンジで加熱する場合は、必ず飲み物は最大目盛り容量以下として加熱前に部品などを必ずはずしてください。

⚠ 注意

●落としたり強い衝撃が加わると割れます。お取扱いには十分ご注意ください。
●火のそばに置かないでください。
●必ず保護者の目の届くところで使用してください。
●使用前に必ず洗浄および消毒をしてください。
●各部品を正しくしっかり取り付けてください。間違ったり、緩かったりした場合、もれるおそれがあります。
●乳首の吸い穴や空気穴がくっつきふさがるおそれがあります。ぬるま湯などにつけて乳頭をやわらかくもみ洗いしてください。
●炭酸飲料は入れないでください。飲み口から飲み物が噴出するおそれがあります。
●携帯の際は条件によっては漏れるおそれがありますのでポリ袋などに入れて持ち運びください。
●赤ちゃんの近くで調乳しないでください。ヤケドのおそれがあります。
●取り外した部品を赤ちゃんの手の届くところに置かないでください。誤飲のおそれがあります。
●電子レンジでの空炊きをすると、プラスチックが変形したり溶けたりする場合がありますので、避けてください。
●煮沸消毒や電子レンジ消毒直後の製品は直接触れないでください。ヤケドのおそれがあります。
●過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。
●転倒の際、ケガのおそれがありますので、赤ちゃんがほ乳びんを噛みながら歩いたり、走ったりしないようにしてください。

●赤ちゃんが寝るときに、ほ乳びんをくわえさせないでください。
●細菌による感染症予防のために、使用後はすぐぬるま湯につけて洗浄してください。また着色された飲み物や果汁を入れた場合、においや色がつくおそれがあります。
●洗うときは、やわらかいスポンジとほ乳びん専用洗剤を使用してください。みがき粉、クレンザー、たわしなどかたいものでこすると、キズがつき汚れや白濁の原因となるおそれがあります。また、洗剤が残らないよう十分すすいでください。
●食器乾燥機（洗浄機）を使用しないでください。熱による変形、破損の原因になります。また、細部が十分に洗浄できないおそれがあります。
●乳首は裏返してからていねいに洗ってください。乳頭部の吸い穴および空気孔はよくもみ洗いをしてください。つまるとつぶれや脱落など思わぬ事故の原因になります。

＜洗浄について＞

●煮沸消毒の際、ヤケドなどには十分に注意してください。
●大きめのなべにたっぷり水を入れ、よく洗浄したボトル・キャップ・口部・乳首を入れ火にかけ、なべの底やふちに接しないように煮沸してください。
●過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。煮沸消毒は、3〜5分を限度としてください。

＜消毒について＞

●本品は煮沸、薬液、電子レンジによる消毒が可能です。必ず消毒して使用してください。

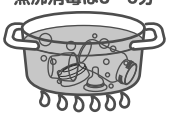
＜煮沸消毒＞

●食器乾燥機（洗浄機）を使用しないでください。乾燥時の熱による変形、破損の原因になります。
●煮沸消毒後、乳首が冷めない間、シリコーンゴム特有の臭いが強く感じられることがありますが、材質本来の臭いで衛生上は心配ありません。
●製品は冷めてから取り出してください。製品が高温になりヤケドをするおそれがあります。また、熱による変形、破損の原因になります。

＜薬液消毒＞

●各部材を取り外し、ほ乳びん、乳首専用の消毒液を使用してください。
●消毒液の取扱説明書にしたがって消毒してください。
薬液消毒の場合、印刷の色が薄くなるおそれがあります。

煮沸消毒は3〜5分



＜電子レンジ消毒＞

●各部材を取り外し、電子レンジおよび電子レンジ消毒器の取扱説明書にしたがって消毒してください。
●直接電子レンジにほ乳びんや部品を入れないでください。

＜漂白＞

●漂白する場合は台所用酸素系漂白剤を使用し、漂白剤の取扱説明書にしたがってください。
●漂白時間は30〜40分を限度としてください。過度の漂白は製品を早くいためます。

＜調乳方法＞ 詳しい調乳方法は粉ミルクの表示をご覧ください。

●赤ちゃんの近くで調乳しないでください。
●調乳には、必ず一度沸騰させた70℃以上のお湯を使用してください。沸騰して30分以上放置し、70℃未満になったお湯は絶対使用しないでください。

⚠ 注意 高温のお湯を取り扱うので、ヤケドに注意してください。

●電子レンジを使用して、ほ乳びんで調乳用のお湯を沸かさないでください。
●調乳したミルクを電子レンジで温めなおさないでください。ミルク成分の変質の原因となります。
●ミルクの量は最大目盛りを超えないようにしてください。
●ミルクが泡立つほど強くゆすって混ぜないでください。
●調乳後にびんを斜め下に向けるとミルクが飛び出ます。しばらくそのままにしてミルクがぽたぽたと落ちるようになってから授乳してください。

＜授乳方法＞

●授乳の際は保護者の監督のもとで行なってください。
●ミルクは人肌温度（38〜40度くらい）が適温です。必ず授乳前に腕の内側にミルクを1〜2滴たらして温度を確認してください。
●授乳時間は15〜20分を目安にしてください。適切な授乳時間は赤ちゃんのアゴの運動を促し、離乳食へ移行するための準備運動となります。
●乳首の先端にミルクを少し残した状態で授乳をやめてください。最後まで吸わせると空気を飲み込むおそれがあります。
●授乳後は赤ちゃんにげっぷをさせましょう。
●調乳後2時間以内に使用しなかったミルクは捨ててください。

＜こんなときは…＞

●キャップ部分から漏れる
キャップがしっかり締まっていますか。
→キャップをしっかり締めなおしてください。

●乳首からミルクが出ない
乳首の穴がつまっていませんか。
→乳首の穴を洗浄してください。

●ミルクの出が突然多くなった
乳首の先が切れたりして穴が大きくなっていませんか。
→乳首を交換してください。

Richell
for babies

2051
2052

広口PPSUほ乳びん
取扱説明書

このたびは、リッチェル製品をお求めいただきありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も併せてお渡しください。

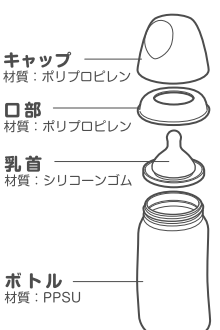
品　名	ほ乳器（プラスチック製）	
材料の種類	ボトル	ポリフェニルサルホン（PPSU）
	キャップ・口部	ポリプロピレン（PP）
	乳首	シリコーンゴム（Silicone）
乳首の吸い穴の形状	丸穴	
本体の容量	150, 260ml　（最大目盛り容量）	

取扱い上の注意
- ○ 過度の煮沸は製品を早くいためますので注意してください。
- ○ 薬液消毒はほ乳びん、乳首専用の消毒液を使用してください。
- ○ 電子レンジでの空炊きをすると、プラスチックが変形したり、溶けたりする場合がありますので避けてください。
- ○ 火のそばに置かないでください。軟化し変形などの原因となるおそれがあります。
- ○ かためのブラシなどでみがくと、キズがつき汚れや白濁の原因となるおそれがあります。
- ○ 使用後は、すぐにぬるま湯につけて専用のブラシなどで十分に洗浄した後、消毒を行ってください。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社 リッチェル
富山市水橋桜木136　〒939-0592
お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間：9:00～17:00（土日、祝祭日を除く）
http://www.richell.co.jp/

＜各部の名称と材質＞

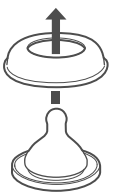


MADE IN CHINA　1311

＜セット方法＞

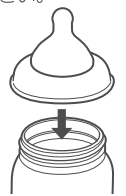
⚠注意 乳首が口部に正しくセットされないと漏れの原因になります。

①乳首を口部に矢印の方向へパチッと音がするまでしっかり取付けてください。



②①の裏側から、乳首の外側がメクレていないか確認してください。メクレている部分は指で凸部を中央へ引くと直ります。

③ ②でセットした口部をボトルに取付けてください。



乳首についての注意

- ● 吸い穴や空気穴がゴムの特性で閉じてしまい、ミルクが正常に出なくなることがありますので、もみ洗いなどをして、常に弁が開いた状態にしてください。
- ● 乳首は古くなると弾力性がなくなり、破れやすくなります。早めにお取替えください。

＜乳首の使用について＞

- ● 乳首はほ乳びんにセットし、赤ちゃんの授乳や他の飲み物を与えるためのものです。それ以外の目的には使用しないでください。
- ● 乳首は2～3コを交互に使ってください。赤ちゃんがひとつの乳首になじむと、新しい乳首を嫌って吸わないおそれがあります。
- ● 同じ乳首を長く使用すると弾力を失い、破れたりして本来の機能を失うばかりでなく、思わぬ事故の原因となります。より衛生的にお使いいただくためにも、早めに取替えてください。（目安は2コを交互に使用した場合、約2カ月）また、乳首の表面がベタついたり先端がふくらんだものはゴムが劣化していますので、使用しないでください。
- ● 歯の生えている赤ちゃんが噛んで引っ張ると裂けるおそれがありますので注意してください。
- ● 乳首を直接日光の当たる場所に放置しないでください。長時間直射日光に当てると、変質の原因になります。

＜使用上の注意＞

○記号の説明
この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

⚠警告 …取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。
⚠注意 …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⚠警告

●電子レンジで加熱する場合は、必ず飲み物は最大目盛り容量以下として加熱前に部品などを必ずはずしてください。

⚠注意

●火のそばに置かないでください。
●必ず保護者の目の届くところで使用してください。
●使用前に必ず洗浄および消毒をしてください。
●各部品を正しくしっかり取付けてください。間違ったり、ゆるかったりした場合、もれるおそれがあります。
●乳首の吸い穴や空気穴がくっつきふさがるおそれがあります。ぬるま湯などにつけて乳頭をやわらかくもみ洗いしてください。
●炭酸飲料は入れないでください。飲み口から飲み物が噴出するおそれがあります。
●携帯の際は条件によっては漏れるおそれがありますのでポリ袋などに入れて持ち運びください。
●赤ちゃんの近くで調乳しないでください。ヤケドのおそれがあります。
●取り外した部品を赤ちゃんの手の届くところに置かないでください。誤飲のおそれがあります。
●落としたり強い衝撃を加えないでください。変形、破損の原因になります。
●電子レンジでの空炊きをすると、プラスチックが変形したり溶けたりする場合がありますので、避けてください。
●煮沸消毒や電子レンジ消毒直後の製品は直接触れないでください。ヤケドのおそれがあります。
●過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。
●転倒の際、ケガのおそれがありますので、赤ちゃんがほ乳びんを噛みながら歩いたり、走ったりしないようにしてください。
●赤ちゃんが寝るときに、ほ乳びんをくわえさせないでください。
●食器乾燥機（洗浄機）を使用しないでください。乾燥時の熱による変形、破損の原因になります。

＜洗浄について＞

●細菌による感染症予防のために、使用後はすぐぬるま湯につけて洗浄してください。また着色された飲み物や果汁を入れた場合、においや色がつくおそれがあります。
●洗うときは、やわらかいスポンジとほ乳びん専用洗剤を使用してください。みがき粉、クレンザー、たわしなどかたいものでこすると、キズがつき汚れや白濁の原因となるおそれがあります。また、洗剤が残らないよう十分すすいでください。
●食器乾燥機（洗浄機）を使用しないでください。熱による変形、破損の原因になります。また、細部が十分に洗浄できないおそれがあります。
●乳首は裏返してからていねいに洗ってください。乳頭部の吸い穴および空気孔はよくもみ洗いをしてください。つまるとつぶれや脱落など思わぬ事故の原因になります。

＜消毒について＞

●本品は煮沸、薬液、電子レンジによる消毒が可能です。必ず消毒して使用してください。

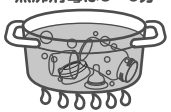
＜煮沸消毒＞

●煮沸消毒の際、ヤケドなどには十分に注意してください。
●大きめのなべにたっぷり水を入れ、よく洗浄したボトル・キャップ・口部・乳首を入れ火にかけ、なべの底やふちに接しないように煮沸してください。
●過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。煮沸消毒は、3～5分を限度としてください。
●煮沸消毒後、乳首が冷めない間、シリコーンゴム特有の臭いが強く感じられることがありますが、材質本来の臭いで衛生上は心配ありません。
●製品は冷めてから取り出してください。製品が高温になりヤケドをするおそれがあります。また、熱による変形、破損の原因になります。

＜薬液消毒＞

●各部材を取り外し、ほ乳びん、乳首専用の消毒液を使用してください。
●消毒液の取扱説明書にしたがって消毒してください。
薬液消毒の場合、印刷の色が薄くなるおそれがあります。

煮沸消毒は3～5分



＜電子レンジ消毒＞

●各部材を取り外し、電子レンジおよび電子レンジ消毒器の取扱説明書にしたがって消毒してください。
●直接電子レンジにほ乳びんや部品を入れないでください。

＜漂白＞

●漂白する場合は台所用酸素系漂白剤を使用し、漂白剤の取扱説明書にしたがってください。
●漂白時間は30～40分を限度としてください。過度の漂白は製品を早くいためます。

＜調乳方法＞ 詳しい調乳方法は粉ミルクの表示をご覧ください。

●赤ちゃんの近くで調乳しないでください。
●調乳には、必ず一度沸騰させた70℃以上のお湯を使用してください。沸騰して30分以上放置し、70℃未満になったお湯は絶対使用しないでください。

⚠注意 高温のお湯を取り扱うので、ヤケドに注意してください。

●電子レンジを使用して、ほ乳びんで調乳用のお湯を沸かさないでください。
●調乳したミルクを電子レンジで温めなおさないでください。ミルク成分の変質の原因となります。
●ミルクの量は最大目盛りを超えないようにしてください。
●ミルクが泡立つほど強くゆすって混ぜないでください。
●調乳後にびんを斜め下に向けるとミルクが飛び出ます。しばらくそのままにしてミルクがぽたぽたと落ちるようになってから授乳してください。

＜授乳方法＞

●授乳の際は保護者の監督のもとで行なってください。
●ミルクは人肌温度（38～40度くらい）が適温です。必ず授乳前に腕の内側にミルクを1～2滴たらして温度を確認してください。
●授乳時間は15～20分を目安にしてください。適切な授乳時間は赤ちゃんのアゴの運動を促し、離乳食へ移行するための準備運動となります。
●乳首の先端にミルクを少し残した状態で授乳をやめてください。最後まで吸わせると空気を飲み込むおそれがあります。
●授乳後は赤ちゃんにげっぷをさせましょう。
●調乳後2時間以内に使用しなかったミルクは捨ててください。

＜こんなときは…＞

●キャップ部分から漏れる
キャップがしっかり締まっていますか。
→キャップをしっかり締めなおしてください。

●乳首からミルクが出ない
乳首の穴がつまっていませんか。
→乳首の穴を洗浄してください。

●ミルクの出が突然多くなった
乳首の先が切れたりして穴が大きくなっていませんか。
→乳首を交換してください。